

---

# 経済理論 I

## (マクロ経済学)

柳原 光芳

第5回

# 第3講：GDPの決定

## （第13章）

- 失業が存在しているもとでは財市場の均衡はどのように達成されるか？
- 乗数とは何か？
- 総需要管理政策はいかにサポートされるか？

## 3.2 GDPの決定(計算)(13-1)

◎総需要は  $Y_D \equiv C+I+G$

☆ケインズ型消費関数(仮定③)について

$$C = C_0 + cY \leftarrow \text{総供給(=総所得)}$$

独立(自律的・基礎)消費

……所得に依存しない  
生活に必要な

限界消費性向

$0 < c < 1$ の定数  
所得の限界的増加による  
消費の限界的増加量

☆投資

$I = I_0$  で一定と仮定

☆政府支出

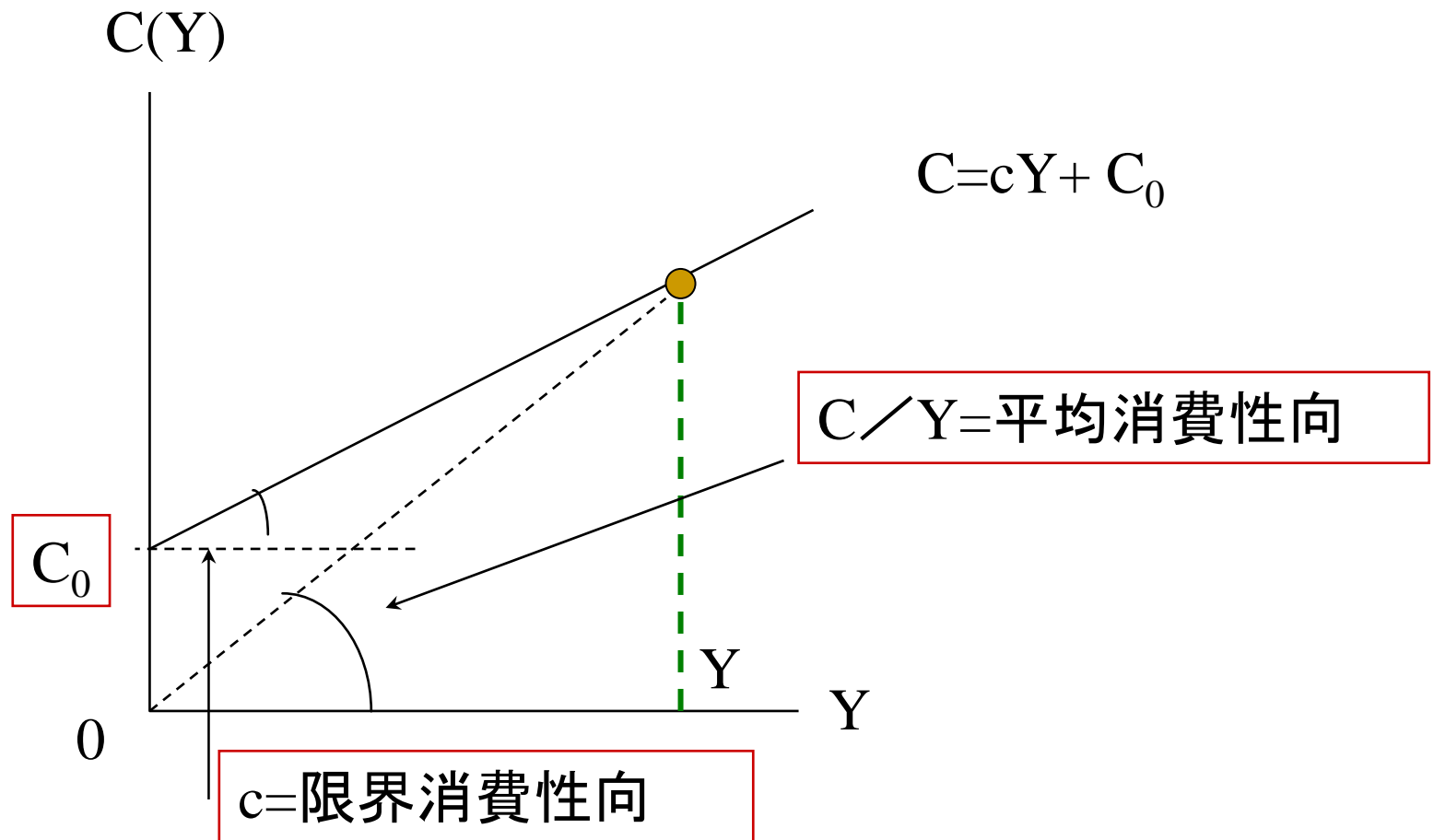
$G = G_0$  で一定と仮定

◎総供給は  $Y_S \equiv Y$

∴財市場の均衡条件:  $Y_S = Y_D \Rightarrow Y = C_0 + cY + I_0 + G_0$

### 3.3 ケインズ型消費関数(グラフ)(13-1)

例:



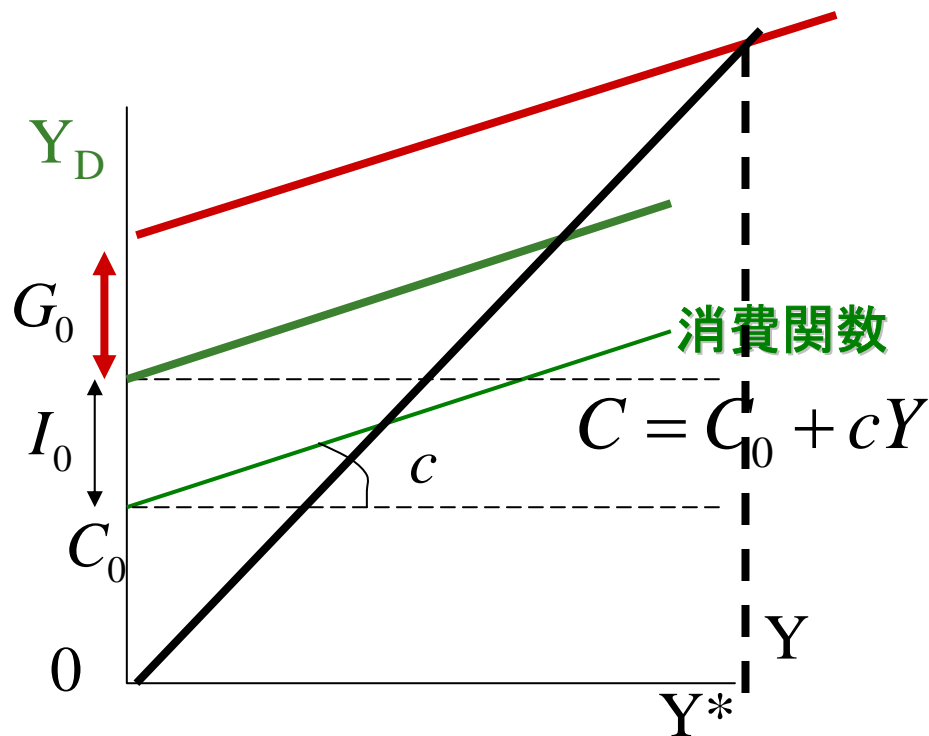
### 3.4 GDPの決定(解) (13-1)

$Y = C_0 + cY + I_0 + G_0$  を変形して**均衡GDP**が求められる

$$Y^* = \frac{C_0 + I_0 + G_0}{1 - c}$$

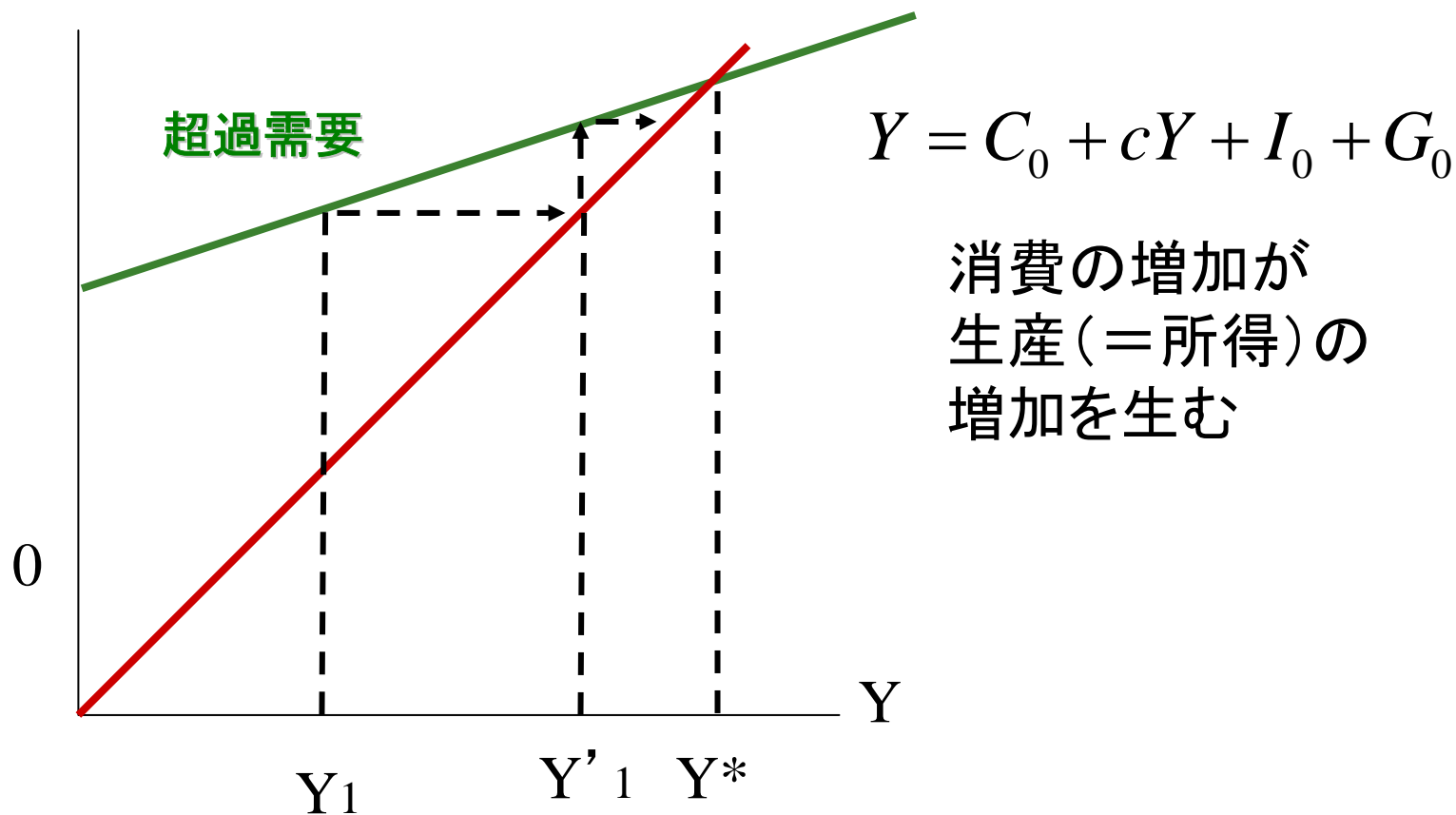
総需要  
 $Y_D \equiv C + I + G$

図示:



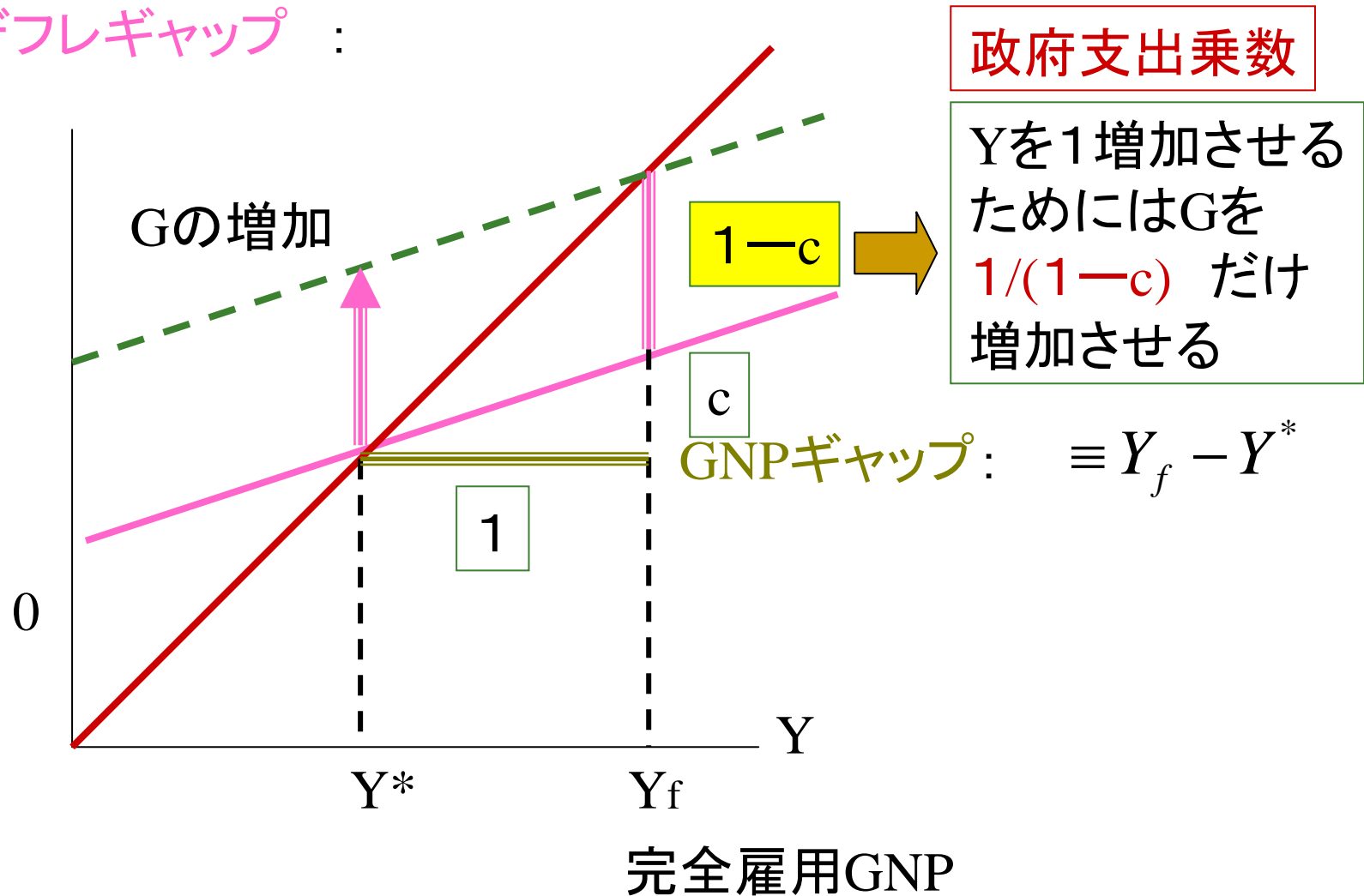
### 3.5 均衡への調整メカニズム(安定性) (13-1)

(例)  $YD > YS$  ( $Y^* > Y_1$ ) のケース



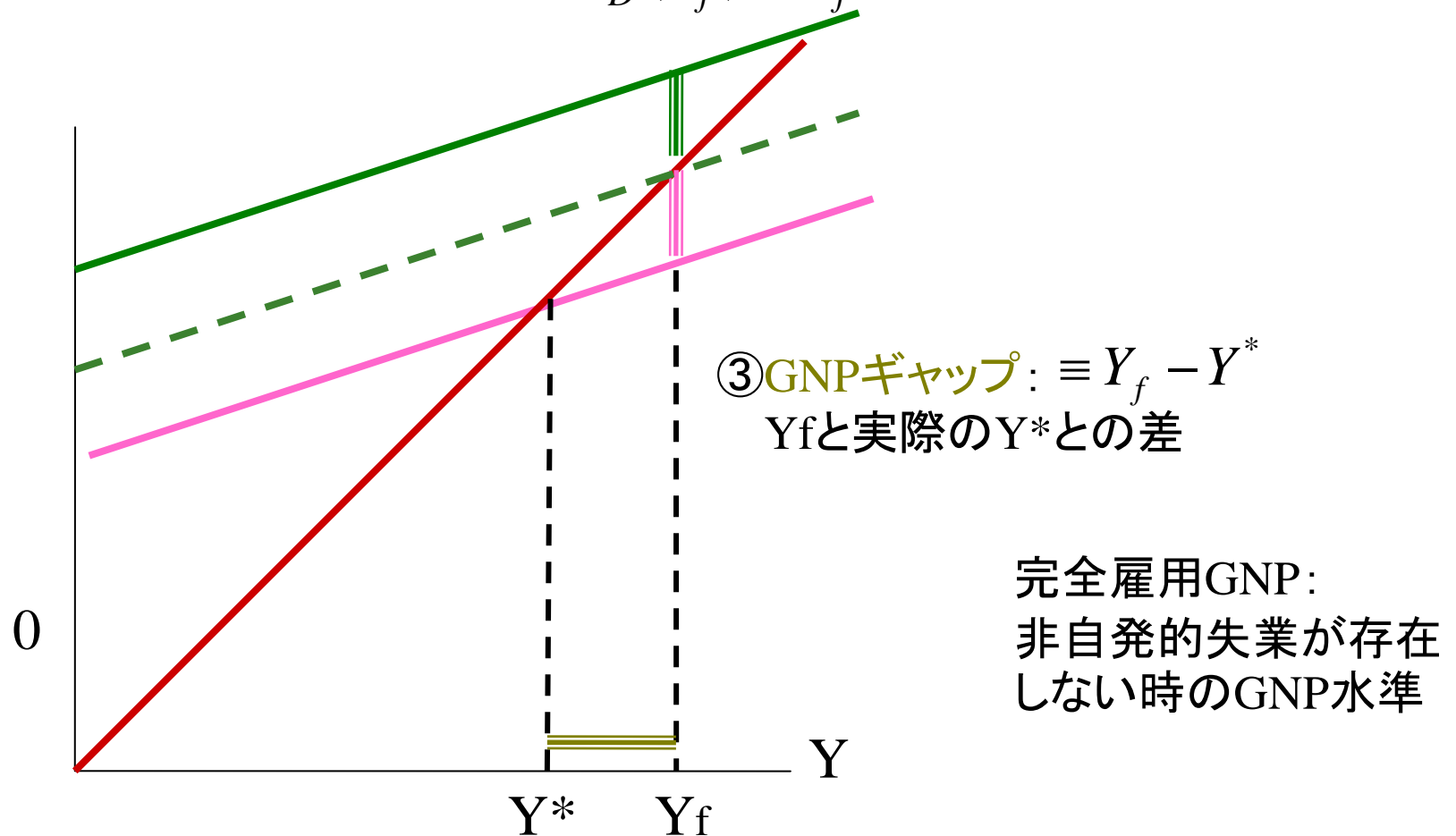
## 3.6 財政政策(総需要管理)の必要性(13-4)

### ① デフレギャップ :



### 3.6 財政政策(総需要管理)の必要性(13-4)

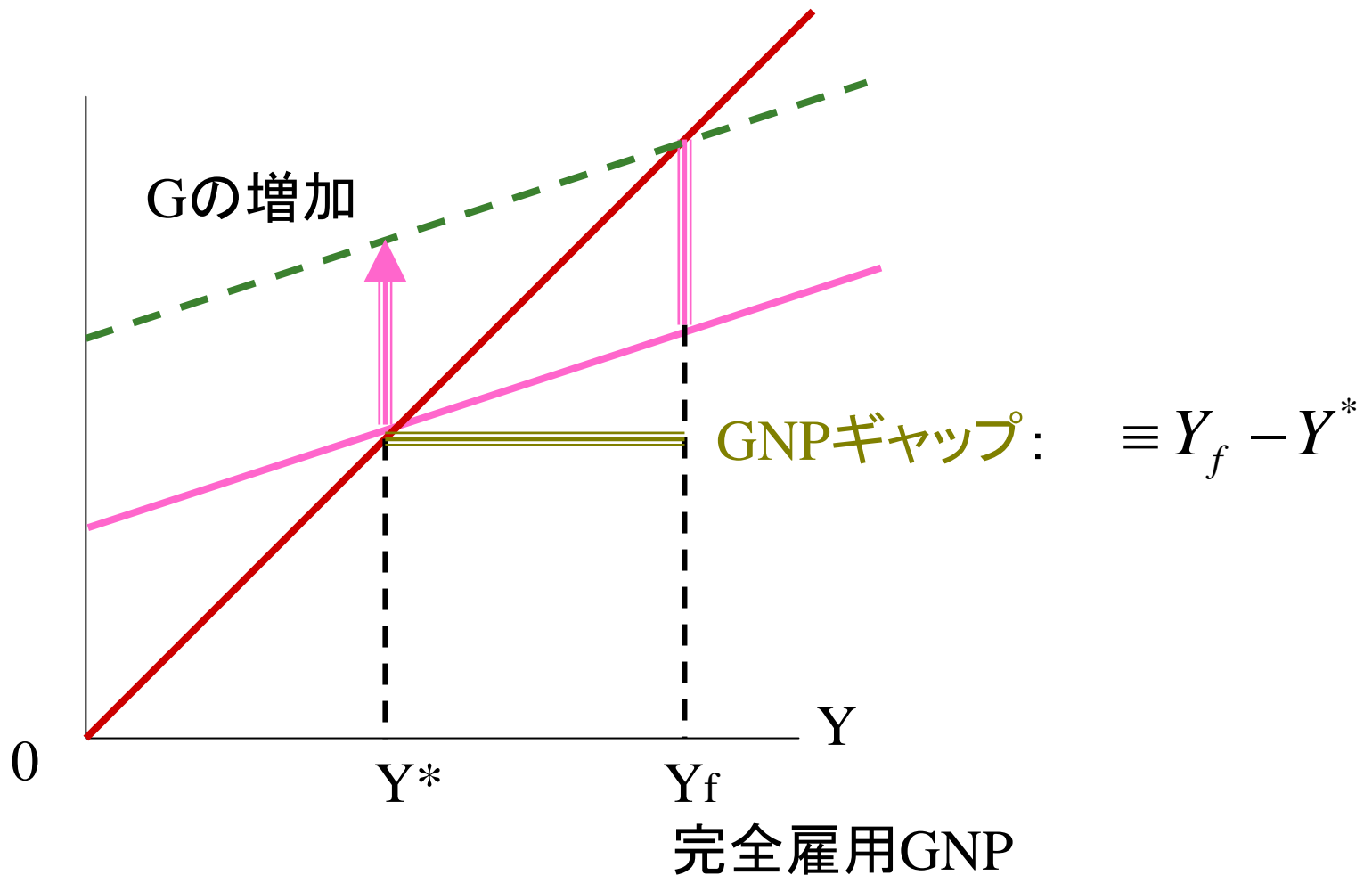
- ①デフレギャップ :  $GAPD \equiv Y_f - Y_D(Y_f)$   $Y_f$ 達成に必要な需要量
- ②インフレギャップ:  $GAPI \equiv Y_D(Y_f) - Y_f$   $Y_f$ 達成に減少させるべき需要量





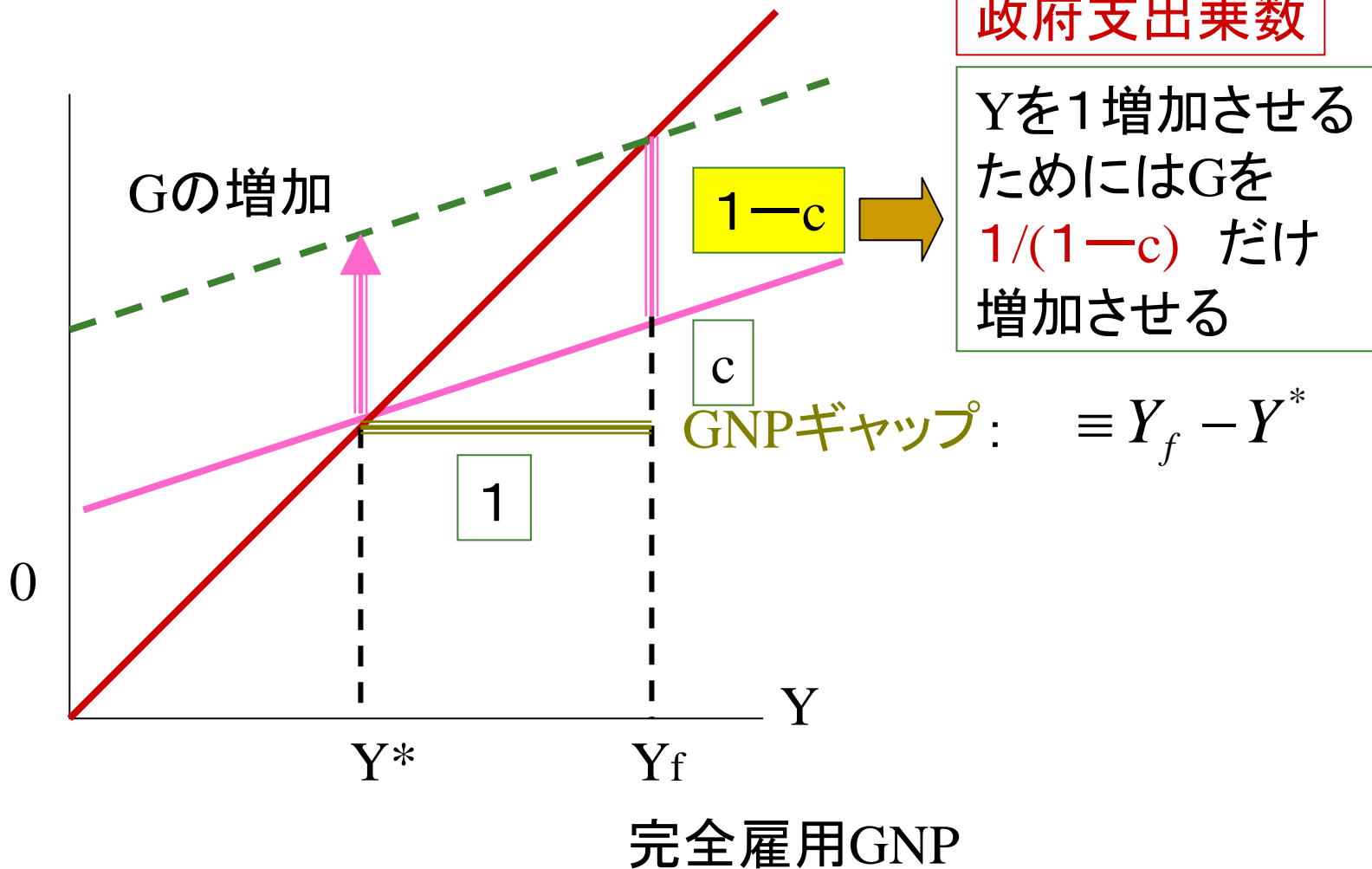
## 3.6 財政政策(総需要管理)の必要性(13-4)

①デフレギャップ :



### 3.6 財政政策(総需要管理)の必要性(13-4)

①デフレギャップ :



### 3.6 財政政策(総需要管理)の必要性(13-4)

- ①デフレギャップ :  $GAPD \equiv Y_f - Y_D(Y_f)$   $Y_f$ 達成に必要な需要量
- ②インフレギャップ:  $GAPI \equiv Y_D(Y_f) - Y_f$   $Y_f$ 達成に減少させるべき需要量

